



各部の名称とはたらき	2
フロント・パネル	2
リア・パネル／サイド・パネル（機器の接続）	2
準備する	4
ギター／ベースの準備	4
機器を接続する	4
電源を入れる	4
お使いの楽器（ギター／ベース）を選ぶ（MODE SETTING）	4
出力端子に接続する機器を選ぶ（OUTPUT SELECT）	4
ピックアップの設定をする（GK SETTING）	5
音量を調節する	7
チューナーを使う	7
演奏する	8
メモリーを選ぶ	8
プレイ画面について	8
INST（モデリング）の音だけにする（FX BYPASS）	8
安全上のご注意	9
使用上のご注意	9
主な仕様	10

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（『はじめにお読みください』チラシとクイック・スタート（P.9））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2024 Roland Corporation

📖 クイック・スタート（本書）

最初に読んでください。基本的な使いかたを説明しています。

📄 PDF マニュアル（Web からダウンロード）

• リファレンス・マニュアル

機能や操作について、さらに詳しい説明をしています。

• パラメーター・ガイド

本機のすべてのパラメーターについて解説しています。

• MIDI インプリメンテーション

MIDIメッセージの詳細資料です。

📄 PDF マニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。

https://roland.cm/boss_om



2. 製品名「VG-800」を選んでください。



各部の名称とはたらき

フロント・パネル



1 ディスプレイ

VG-800 のさまざまな情報を表示します。

2 [OUTPUT LEVEL] つまみ

全体の音量を調節します。

3 [INST] ボタン

INST (モデリング) の音色を設定します。

4 [EFFECTS] ボタン

エフェクトの設定とエフェクトの接続順を設定します。

5 [MENU] ボタン

MENU 画面に切り替えます。

6 [◀] [▶] (PAGE) ボタン

ページを切り替えます。

7 [EXIT] ボタン

前の画面に戻したり、操作を取り消したりするときに使用します。

※ [EXIT] ボタンと [◀] ボタンを同時に押すと、KNOB LOCK 機能の ON / OFF が切り替わります。

ON にすると、プレイ画面 (P.8) でのつまみの操作が無効になります。

※ [EXIT] ボタンと [▶] ボタンを同時に押すと、メモリーの保存やコピーをすることができます。

8 [1] [2] [3] [4] [5] [SELECT] つまみ

ディスプレイに表示されたパラメーターの設定値を選んだり、変更したりします。

9 [▼] [▲] スイッチ

メモリーを切り替えます。

※ [▼] スイッチと [▲] スイッチを同時に押すと、チューナー画面が表示されます。

10 [CTL 1] スイッチ

メモリーごとに設定した機能をコントロールします。

リア・パネル／サイド・パネル (機器の接続)

11 GK IN 端子

BOSS ディバイデッド・ピックアップ GK-5 / GK-5Bなどを装着した、ギターやベースを接続します。

※ 専用のシリアル GK ケーブル以外は、絶対に接続しないでください。

12 GK OUT 端子

VG-800 を複数台使用する場合や、GK IN 端子を搭載した対応機器を接続します。

13 GUITAR INPUT 端子

通常のギターを接続します。

14 SEND / RETURN 端子

外部エフェクトなどを接続します。

SEND / RETURN 端子はステレオ (TRS) に対応しています。

→ 接続について、詳しくは、『リファレンス・マニュアル』(Web) をご覧ください。

15 OUTPUT 端子

ギター・アンプ、PA (ライン) またはヘッドホン (別売) に接続します。

※ ヘッドホンは L/PHONES 端子に接続してください。

※ モノで出力するときは、R/MONO 端子だけに接続してください。

※ ヘッドホン使用時は、R/MONO 端子には何も接続しないでください。

16 CTL 2, 3/EXP 1 端子、CTL 4, 5/EXP 2 端子

エクスプレッション・ペダル (別売: EV-30、FV-500L、FV-500H、EV-5) やフットスイッチ (別売: FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、さまざまな機能をコントロールすることができます。

→ 設定方法については、『リファレンス・マニュアル』(Web) をご覧ください。

17 DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ DC IN 端子は、電源スイッチも兼ねています。DC IN 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。プラグを抜くとオフになります。

18 機能接地端子

外部アースまたは大地に接地します。
必要に応じて接続してください。

19 (USB COMPUTER) 端子

市販の USB Type-C® ケーブルで、パソコンに接続します。
専用のエディター・ソフトを使ったり、USB MIDI と USB オーディオの情報をやりとりしたりすることができます。
パソコンに接続するときは、USB ドライバーをインストールする必要があります。
USB ドライバーは、BOSS のホームページからダウンロードしてください。

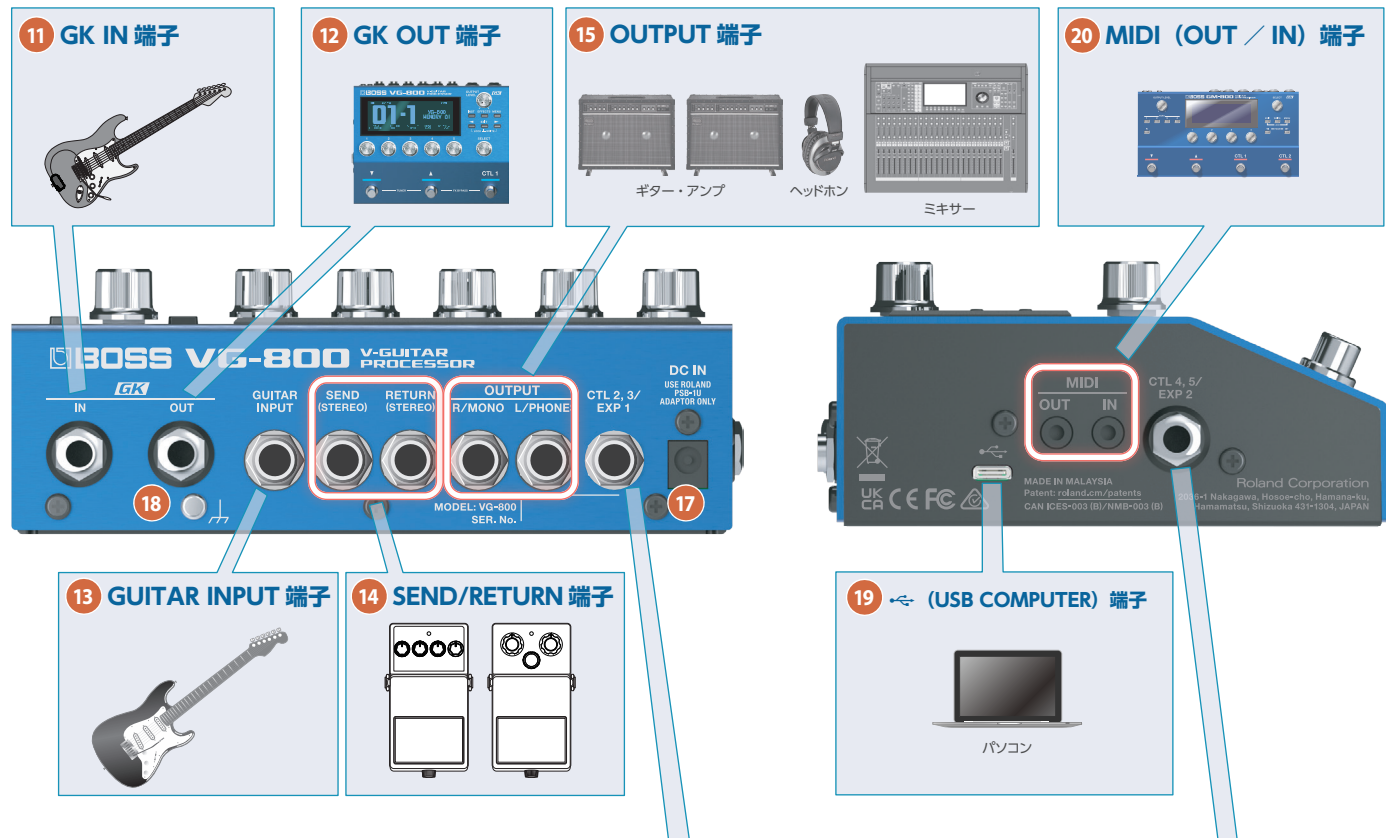
詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をお読みください。

※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

20 MIDI (OUT/IN) 端子

外部 MIDI 機器と接続して、MIDI メッセージを送受信します。
※ 接続するときは、TRS/MIDI ケーブル (BMIDI-5-35: 別売) をご使用ください。
※ オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



16 CTL 2, 3/EXP 1 端子、CTL 4, 5/EXP 2 端子

EXP 1、EXP 2 端子として使う場合
エクスプレッション・ペダルを接続します。

CTL 2, 3、CTL 4, 5 端子として使う場合
フットスイッチを接続します。

FS-5U × 1 の場合

標準プラグ
↓
標準プラグ

FS-5U
CTL 2
CTL 4

FS-5U × 2 の場合

ステレオ標準プラグ
↓
標準プラグ × 2

FS-5U FS-5U
CTL 3 CTL 5
CTL 2 CTL 4

FS-6 の場合

ステレオ標準プラグ
↓
ステレオ標準プラグ

FS-6
CTL 3 CTL 5
CTL 2 CTL 4

FS-7 の場合

ステレオ標準プラグ
↓
ステレオ標準プラグ

CTL 3
CTL 5
CTL 2
CTL 4

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの (別売: EV-30、FV-500L、FV-500H、EV-5) をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

モード／ポラリティー・スイッチ

FS-5U

POLARITY MODE
FS-5U (MONITOR) LATCH

FS-6

POLARITY MODE
FS-6 (MONITOR) LATCH

FS-7

POLARITY MODE
FS-7 (MONITOR) LATCH

準備する

ギター／ベースの準備

- VG-800 のモデリングやオルタネイト・チューニングを使用するときは、BOSS GK-5 / GK-5B などの各弦独立した信号を出力できるディバイデッド・ピックアップ（GK ピックアップ）を装着したギター、またはベース・ギターが必要です。
- GK ピックアップの取り付けについては、GK ピックアップの取扱説明書をご覧ください。
- ネックの反り、フレットの摩耗による弦のビビリ、オクターブ調整のスレは、誤発音の原因になりますのでご注意ください。

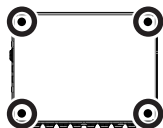
機器を接続する

→「リア・パネル／サイド・パネル（機器の接続）」（P.2）をご覧ください。

ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。



※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷つける恐れがあります。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

電源を入れる

- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。
- ※ 切るときは、逆の手順で電源を切ります。

1. ギター・アンプなど、本機に接続する機器の音量を絞ります。
2. OUTPUT 端子に機器を接続します。
3. ギターなどを接続します。
4. 付属の AC アダプターを本機の DC IN 端子に差し込みます。
本機の電源がオンになり、プレイ画面が表示されます。
5. ギター・アンプなど、本機に接続した機器の電源を入れます。

Auto Off 機能

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間（初期値：20 分）が経過すると、省エネルギーのため自動的に電源が切れます。

- 自動的に電源が切れると、保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- 自動的に電源が切れないようにするには、設定をオフにしてください。ただし設定をオフにすると、消費電力量の増加につながります。
- 自動的に切れた電源を再び入れるときは、本機の電源を入れ直してください。

※ オフ・モード（自動的に電源が切れた状態）の消費電力：0.1W

※ 詳しくは、『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

お使いの楽器（ギター／ベース）を選ぶ（MODE SETTING）

VG-800 にギターを接続して使うときはギター・モード（GUITAR MODE）、ベースを接続して使うときはベース・モード（BASS MODE）に設定します。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. [◀] [▶] ボタンを押して、「MODE SETTING」を表示させます。



3. [5] つまみを押します。
メッセージが表示されます。



4. [5] つまみを押して「OK」を選び、モードを変更します。

モードを変更しない場合は、[4] つまみを押して、「CANCEL」を選びます。

処理が完了すると、「Completed」と表示されます。

- ※ 「Executing…」と表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。

5. VG-800 の電源を入れ直します。

メモ

- VG-800 は次回モードを切り替えるまで、選んだモードで起動します。
- 選んだモードによって、表示が異なるパラメーターがあります。
- メモリーは、ギター・モードとベース・モードでそれぞれ独立しています。

出力端子に接続する機器を選ぶ（OUTPUT SELECT）

1. [MENU] ボタンを押します。
2. [◀] [▶] ボタンを押して、「IN/OUT SETTING」を表示させます。



3. [3] つまみを押します。
IN/OUT SETTING 画面が表示されます。



4. [1] つまみを押します。

OUTPUT 画面が表示されます。



5. [1] つまみを押します。

OUTPUT SELECT 画面が表示されます。



6. [SELECT] つまみを回して、接続機器を選びます。

接続機器の種類について、詳しくは、『リファレンス・マニュアル』(Web) をご覧ください。

ピックアップの設定をする (GK SETTING)

VG-800 を常に最適な状態で演奏するために、ディバイデッド・ピックアップの設定をします。VG-800 はこの設定 (GK SETTING) を 10 種類保存することができます。

ここでは、ピックアップの設定を 01:GKSET 1 に保存する操作を例にとって説明します。

メモ

- GK SETTING は電源を切っても保存されます。演奏のたびに設定し直す必要はありません。
- これらの設定は、ディバイデッド・ピックアップを新たにギターやベースに取り付けたときや、ディバイデッド・ピックアップの高さを変更したときなどに必要です。

1. [MENU] ボタンを押します。

2. [◀] [▶] ボタンを押して、[GK SETTING] を表示させます。



3. [2] つまみを押します。

GK SETTING 画面が表示されます。

4. [SELECT] つまみを回して、1 行目にカーソルを合わせます。



5. [1] つまみを回して、01:GKSET 1 を選びます。

ピックアップの設定が 01:GKSET 1 に保存されます。

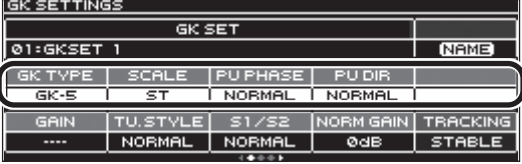
メモ

ピックアップの設定は、手順 5 で選んだ番号に自動で保存されます。

ピックアップ・タイプを選ぶ

お使いのギター (ベース) に装着されているピックアップを選びます。

6. [SELECT] つまみを回して、2 行目にカーソルを合わせます。



7. [1] つまみを回して、ピックアップ・タイプを選びます。

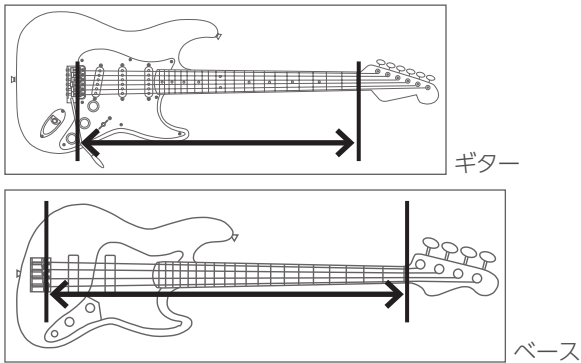
GK TYPE (ギター・モード)	説明
GK-5	BOSS GK-5 を使うときに選びます。
GK5KIT-6	BOSS GK5-KIT (6 弦) が内蔵されたギターを使うときに選びます。
GK5KIT-7	BOSS GK5-KIT (7 弦) が内蔵されたギターを使うときに選びます。
GK-3	Roland GK-3 を使うときに選びます。*1
GK-2A	Roland GK-2A、またはディバイデッド・ピックアップ (13 ピン) が内蔵されたギター (市販品) を使うときに選びます。*1
GC-1	Roland V-Guitar GC-1 を使うときに選びます。*1
PIEZO	Piezo・ピックアップ (フラット特性) が搭載されたギターを使うときに選びます。*1
PIEZO F	Piezo・ピックアップ (Fishman) が搭載されたギターを使うときに選びます。*1
PIEZO G	Piezo・ピックアップ (Graph Tech) が搭載されたギターを使うときに選びます。*1
PIEZO L	Piezo・ピックアップ (L.R. Baggs) が搭載されたギターを使うときに選びます。*1
PIEZO R	Piezo・ピックアップ (RMC) が搭載されたギターを使うときに選びます。*1

GK TYPE (ベース・モード)	説明
GK-5B	BOSS GK-5B を使うときに選びます。
GK5KIT-B	BOSS GK5-KIT が内蔵されたベースを使うときに選びます。
GK-3B	Roland GK-3B を使うときに選びます。*1
GK-2B	Roland GK-2B を使うとき、またはディバイデッド・ピックアップ (13 ピン) が内蔵されたベース (市販品) を使うときに選びます。*1
PIEZO(B)	Piezo・ピックアップ (フラット特性) が搭載されたベースを使うときに選びます。*1
PIEZO G(B)	Piezo・ピックアップ (Graph Tech) が搭載されたベースを使うときに選びます。*1
PIEZO R(B)	Piezo・ピックアップ (RMC) が搭載されたベースを使うときに選びます。*1

*1 GKC-AD (別売) と組み合わせてお使いください。

スケール長を設定する

お使いのギター（ベース）のスケール長（ブリッジからナットまでの長さ）を設定します。



8. [2] つまみを回して、スケール長を設定します。

ギター・モードをお使いの場合、スタンダードなストラトキャスター・タイプなら「ST (648mm)」を、レスポール・タイプなら「LP (628mm)」を選んでください。
ベース・モードをお使いの場合、スタンダードなジャズ・ベース・タイプ/プレジジョン・ベース・タイプなら「LONG (864mm)」を選んでください。

メモ

GK TYPE に「GC-1」を選んだ場合は、このパラメーターは表示されません。

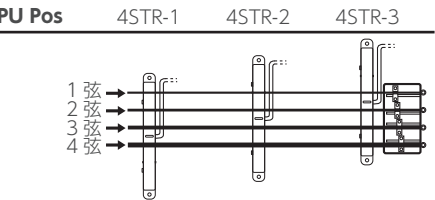
ピックアップの配置を設定する（ベースのみ）

お使いのベースに取り付けたディバイデッド・ピックアップの配置に応じて、PU Pos を設定します。

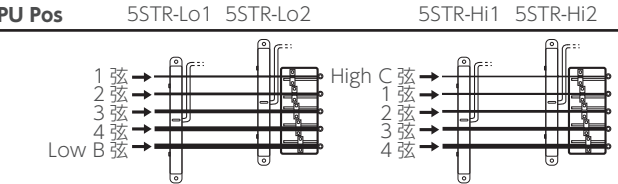
GK SETTINGS				
GK SET				NAME
Q1:GKSET 1				
GK TYPE	SCALE	PU PHASE	PU DIR	PU POS
GK-5B	LONG	NORMAL	NORMAL	6STR
GAIN	TU. STYLE	S1/S2	NORM GAIN	TRACKING
----	NORMAL	NORMAL	0dB	STABLE

9. [5] つまみを回して、PU Pos を設定します。

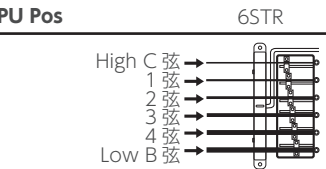
4 弦ベースの場合



5 弦ベースの場合

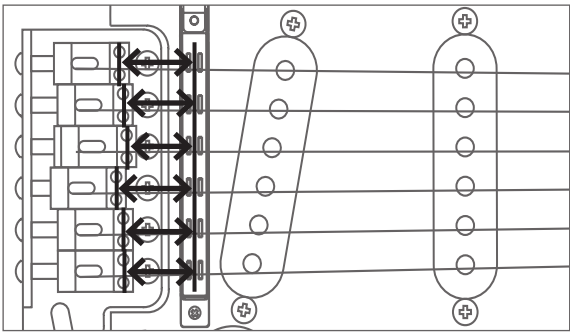


6 弦ベースの場合

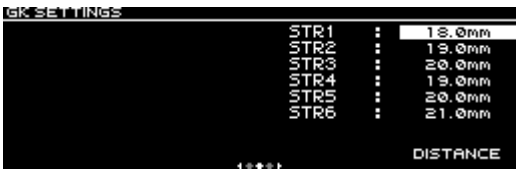


ブリッジからの距離を設定する

ブリッジからピックアップの中心までの距離を、弦ごとに設定します。



10. [◀] [▶] ボタンを押して、DISTANCE 画面を表示させます。



11. [SELECT] つまみを回して、DISTANCE を設定する弦にカーソルを合わせます。

12. [5] つまみを回して、DISTANCE の設定値を調節します。

メモ

GK TYPE に「GC-1」またはピエゾ・タイプのピックアップを選んだ場合は、設定は不要です。

ピックアップの感度を設定する

各弦とディバイデッド・ピックアップの距離が異なると、音量が変わります。ピックアップの感度を設定し、この音量差を補正します。

13. [◀] [▶] ボタンを押して、SENS 画面を表示させます。



14. [SELECT] つまみを回して、SENS を設定する弦にカーソルを合わせます。

15. [5] つまみを回して、SENS の設定値を調節します。

実際の演奏で一番強く弾いたときの感覚で弦を弾き、メーターが振り切れない位置になるように調節します。レベル・メーターが振り切れる場合はレベル・オーバーです。SENS の設定値を下げてください。

※ お使いのギター/ベースによっては、感度を低くしても、レベル・メーターが振り切れてしまう場合があります。このようなときは、ディバイデッド・ピックアップと弦との間隔を、規定よりもやや広めになるように調節してください。

16. 全弦の音量バランスを確認します。

全弦を通常の強さで弾き、特に大きい音が鳴る弦があったらその弦の SENS を下げ、各弦間の音量差が少なくなるように調節します。

※ 画面上のメーターの目印位置を目安にしてください。



17. [EXIT] ボタンを数回押して、プレイ画面 (P.8) に戻ります。

このほかのパラメーターについては、『リファレンス・マニュアル』(Web) をご覧ください。

音量を調節する

[OUTPUT LEVEL] つまみで、全体の音量を調節します。

チューナーを使う

- 1. [MENU] ボタンを押します。
- 2. [◀] [▶] ボタンを押して、「TUNER」を表示させます。



- 3. [5] つまみを押します。
チューナー画面が表示されます。



メモ

[▼] スイッチと [▲] スイッチを同時に押して、チューナー画面を表示させることもできます。

チューナーの各種設定

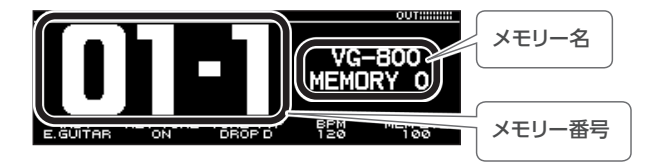
[2]、[3] つまみでチューナーの設定をします。

パラメーター		設定値	説明
[2]	PITCH	435 ～ 445 Hz	基準ピッチを設定します。
[3]	OUTPUT	MUTE	チューニング中に音を出力しません。
		BYPASS	チューニング中にVG-800に 入力されたギターの音をそ のまま出力します。
		THRU	現在のメモリーの音を出力し ながらチューニングができま す。

メモリーを選ぶ

INST（モデリング）の設定、各エフェクトの設定、コントロール／アサイン設定をひとまとめたものを「メモリー」と呼びます。

1. [▼] スイッチ、または [▲] スイッチで、メモリーを選びます。



メモ

[SELECT] つまみを回してメモリーを切り替えることもできます。メモリー 3 つをまとめた「バンク」と 1 ～ 3 の番号（ナンバー）の組み合わせで、メモリーを切り替えることもできます。（BANK/NUM モード）詳しくは、『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

プレイ画面について

電源投入時に表示される画面を「プレイ画面」と呼びます。プレイ画面は次の 3 種類があり、[◀] [▶] ボタンで表示を切り替えることができます。

メモリー番号を大きく表示



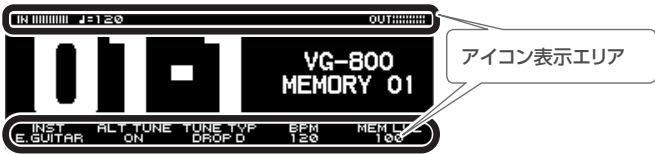
メモリー名を大きく表示



本体のスイッチ等にアサインされている機能を表示



プレイ画面のアイコン表示



表示	説明
IN ■■■■■■	入力レベルを表示します。
OUT ■■■■■■	出力レベルを表示します。
J=120	BPM を表示します。
1 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆	[◀] [▶] ボタンでどのページに移動したか表示します（MENU 画面など）。

メモ

プレイ画面が表示されているときは、[1] ～ [5] つまみに割り当てるパラメーターを変更することができます。詳しくは、『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

INST（モデリング）の音だけにする（FX BYPASS）

すべてのエフェクトをバイパスして、INST（モデリング）の音だけを確認したり、設定したりすることができます。VG-800 のモデリング音だけを使い、外部のアンプやエフェクトと組み合わせた音作りもできます。

1. [▲] スイッチと [CTL 1] スイッチを同時に押して、FX BYPASS にします。

画面に「FX BYPASS」が表示されます。



FX BYPASS を解除するときは、もう一度 [▲] スイッチと [CTL 1] スイッチを同時に押します。

安全上のご注意

警告

付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。



注意

小さな部品はお子様手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- 付属品
ゴム足 (P.4)

接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、緩んではずれないように確実に取り付けてください。



使用上のご注意

電源について

- AC アダプターは、インジケーターのある面が上になるように設置してください。AC アダプターをコンセントに接続すると、インジケーターが点灯します。

設置について

- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

- 修理を依頼される場合は、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または当社サポート窓口にご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップするか、メモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。
 - Copyright © 2009-2018 Arm Limited. All rights reserved.
Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
You may obtain a copy of the License at
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>
- Roland、BOSS、V-Guitar は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 本書では DSP 技術によってエミュレートされたサウンドを適切に表現するために、各社の会社名および製品名などを使用しています。

主な仕様

外形寸法	173（幅）×135（奥行）×63（高さ）mm（ゴム足を除く） 173（幅）×135（奥行）×65（高さ）mm（ゴム足を含む）
質量（ACアダプターを除く）	920g
付属品	ACアダプター（PSB-1U + ACコードセット） クイック・スタート 「はじめにお読みください」チラシ ゴム足×4 保証書
別売品	ディバイデッド・ピックアップ：GK-5（ギター用）、GK-5B（ベース用） シリアル GK ケーブル：BGK-3（1m）、BGK-15（4.5m）、BGK-30（9m） GKコンバーター：GKC-DA、GKC-AD フットスイッチ：FS-5U、FS-5L、FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：EV-30、FV-500L、FV-500H、Roland EV-5 TRS/MIDI コネクティング・ケーブル：BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BMIDI-2-35、BCC-1-3535、BCC-2-3535

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。